



災害から身を守るために

長崎県原子力防災訓練

長崎県原子力防災訓練が10月10日、本市を含む県北部地域を中心に実施されました。

この訓練は、九州電力玄海原子力発電所の事故を想定し、緊急時における通信連絡体制の確立、緊急時モニタリング活動など、災害対策の習熟と防災関係機関相互における協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解を促進するため毎年開催されており、今年度も長崎、佐賀、福岡の3県合同で開催されました。

今回の訓練には鷹島・福島・星鹿・調川および離島（青島・飛島・黒島）の住民約200人が東彼3町への避難および原子力災害医療訓練に参加しました。

また、軽費老人ホーム建禄園から佐世保市内の軽費老人ホームへの退避訓練や自衛隊車両による長崎川棚医療センターへの避難訓練を行うとともに、調川中学校2年生15人が東彼杵町へ避難し、原子力災害医療訓練などに臨みました。



地域への感謝の気持ちを込めて！

九電工松浦営業所

株式会社九電工松浦営業所が10月25日、松浦中央公園の清掃を行いました。

同社では、10月に「さわやかコミュニティ旬間」を設け、社会貢献活動の一環として全社で「ありがとう 日ごろの感謝を届けます」を合言葉に、毎年清掃活動を実施しており、今年で48回目となります。

この日参加した社員らは、市民の憩いの場として地域の皆さんに気持ち良く利用してもらおうと、竹ぼうきで落ち葉を掃いたり、ゴミを拾って公園内をきれいにしました。



特別支援学級合同体験旅行

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ（上村幸四郎会長）が、市内小中学校の特別支援学級に通う児童・生徒を10月19日、佐世保市の九十九島水族館「海きらら」に招待しました。

同クラブ青少年奉仕委員会では、青少年育成活動の一環として毎年、同体験旅行を実施しています。この日、児童・生徒37人と引率者41人が参加。イルカショーを見学したり、ヒトデやヤドリカなどに直接触れたりして楽しい時間を過ごしました。県教育研究会松浦支部特別支援教育部長の古里拓也鷹島小学校教頭は、「子どもたちは、水族館に行くことや友達に会えることを楽しみにしていました。明るい表情が見られ、とても喜んでいました。ロータリークラブの皆さんに感謝しています」と話しました。



いつまでもお元気で

福井田 傳さん 100歳の誕生日

福井田 傳さん（志佐・栢ノ木）が10月30日、100歳の誕生日を迎えました。

福井田さんは大正5年生まれ。ゲートボールを楽しみながら、畑の草取りや近くのゲートボール場の整備を熱心に行われていました。

この日、入所中の特別養護老人ホーム海光園で家族に囲まれ、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



美しいまちへ

シルバー人材センター

公益社団法人松浦市シルバー人材センター（鬼塚誠理事長、会員240人）が、10月の全国シルバー人材センター事業協会の普及啓発促進月間に合わせて清掃活動を行いました。

同センターでは社会貢献の一環と同センターの活動PRのため、毎年市内8地区で公共施設などの清掃に取り組んでいます。

10月13日には、志佐地区の会員がスポーツセンター周辺で草刈りやごみを拾ったりしました。



心に響く美しいしらべ♪

オルゴールの会

音楽愛好家グループ「オルゴールの会」（山口礼子代表世話人）主催コンサート「アンデスの風にのせて 心よせあうコンサート」が10月29日、文化会館で開催されました。

15回目となる同コンサートには、山口修さん（ギタリスト）と純子さん（ソプラノ歌手）夫妻、インカニャン（フォルクローレグループ）が出演。会場に訪れた観客は、ギターや南米アンデスの伝統楽器、美しい歌声のアンサンブルが織り成す素晴らしい音色を楽しみました。

この日の収益金は、市立図書館への児童図書への寄贈とユニセフ募金に活用されました。



松浦の企業が大集合！

松浦こども博

松浦こども博（松浦商工会議所青年部開催）が10月29日、文化会館で開催されました。

子どもたちに体験を通して将来の夢を育むきっかけの場を作り、地元の産業に対する関心と理解を深めてもらおうと開催されました。

会場では、ロボットパフォーマンスやミニ四駆大会、発電実験教室、お菓子作り体験、1億円展示（模擬紙幣）、ネイル体験、コケ玉作りなどが行われました。この日参加した子どもたちは、目を輝かせてさまざまな仕事を体験しました。

